実践ハンズオン！実務で使うためのデータサイエンス　応用編（4119121）

本セミナーは、「実践ハンズオン！実務で使うためのデータサイエンス基礎」の応用編として、データ活用の一連の流れを体験することを目的としています。実務での利用シーンを想定し、仮説を立ててデータ加工・分析・解釈・提案までを実際に手を動かしながら体験します。
※本セミナーにご参加の方は、 ①Excelがインストールされたpcをご持参下さい。また、②事前にMicrosoft Azureのアカウントを作成してください。
※設定方法については、事前に参考資料を配布します。 ※「実践ハンズオン！実務で使うためのデータサイエンス　基礎」（6月5日）とあわせて受講していただくと効果的です。

開催日時	2019年6月6日(木) 10:00-17:00
カテゴリー	IS戦略策定・IS戦略評価・IS企画・IS企画評価　IS活用 専門スキル
講師	廣野勝利 氏 （株式会社ディジタルグロースアカデミア　マネジャー　工学博士　データサイエンティスト） 工学系大学で博士号を取得後、事業会社へ転向。研究手法として習得した統計解析を応用して、マーケティング調査から組織調査・人材アセスメントまで幅広く「可視化」「予測」に関するプロジェクトに従事、チェンジ参画後、データサイエンティストとして活躍
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：33,000円 一般：42,000円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み） 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	すぐに使えて応用範囲が広いデータ分析の手法を身につけたい人 中級
開催形式	講義、グループ演習
定員	20名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

本セミナーは、「実践ハンズオン！実務で使うためのデータサイエンス基礎」の応用編として、データ活用の一連の流れを体験することを目的としています。実務での利用シーンを想定し、仮説を立ててデータ加工・分析・解釈・提案までを実際に手を動かしながら体験します。
※本セミナーにご参加の方は、 ①Excelがインストールされたpcをご持参下さい。また、②事前にMicrosoft Azureのアカウントを作成してください。
（設定方法については、事前に参考資料を配布します）

＜学習のゴール＞
・オープンソースの分析ツールを使って、実際にデータ分析の流れを自ら実践することができる
・目的を意識したデータ分析の課題設定と、予測モデルの精度の向上を自ら実践できるようになる

＜内容＞
１．ビッグデータ活用とは
２．データ活用の流れ
３．ハンズオン（総合演習）
（１）総合演習の設定解説、データの解説
（２）データ分析の仮説設定
（３）データ加工、データの可視化
（４）予測モデルの構築と評価、再構築
（５）分析結果から得られる示唆のまとめ
（６）成果発表、講評